

# 広報広聴会議

日 時 平成 29 年 12 月 7 日（木）午後 2 時  
場 所 第 3 委員会室

---

## 1 広聴部会活動

- (1) 議会報告会（10 / 26）に係る意見、要望等について
  
- (2) わがまちトークに係る意見、要望等について
  - ① 自治会版について（本梅町 10 / 23、畑野町 11 / 5）
  - ② 各種団体版について（H29 成人式実行委員会 11 / 13）

## 2 その他

- (1) わがまちトーク（自治会版）に係る出席議員の決定について  
（東本梅町 1 / 20、千代川町 2 / 3）
- (2) 今後の日程
  - わがまちトーク（自治会版）の役割分担
  - 日時：12月22日（金）本会議終了15分後
  - 場所：全員協議会室

## 議会報告会で頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29. 10. 26 PM 8:00~PM 9:00)

会場( 市民ホール )

|    | 意見・要望などの概要  | 当日回答内容   | 所管             | 対応 |    |    |
|----|---|--|----------------|----|----|----|
|    |   |  |                | 参考 | 報告 | 調査 |
| 1  | 西別院町袖原の護岸の崩壊は災害の補助事業の対象とならないのか。   | 工業団地の水路の崩壊が原因であるので災害とはならない。  | 産業建設           |    |    |    |
| 2  | 亀岡駅北土地区画整理事業で、平成28年度から平成29年度に事業を移行しているのはなぜか。また、補助事業の対象となるのか。  | 整備に向けた協議等が必要であり、亀岡駅北側排水路等の工事がおくれ、結果として駅前広場の工事がおくれたためである。平成28年度の補助金で精算しているため、今回の補正による補助金の支給はない。   | 産業建設           |    |    |    |
| 3  | 上川関の道路について、南丹市との調整により八木町まで道路が接続されたが、市道が延伸したことになるのか。   | 以前あった踏切から斜めに出ていた道路が廃止となり、新たに八木町まで延伸した道路を市道認定した。  | 産業建設           |    |    |    |
| 4  | 京都スタジアム(仮称)の土地の無償貸付期間を10年間としたことについて、議会としてはどのようなチェック方法を考えているのか。長期的なスパンとする場合は、目標を明示させ、定期的にチェックするのがよいのではないか。       | 特別委員会での議論を踏まえ、無償貸付期間を10年とする議案を提案された。10年が経過した時には、再度執行機関から提案されることとなり、10年の貸付期間とするか等を含め、議会としてしっかりとチェックしていく。  | 京都スタジアム(仮称) 検討 |    |    |    |
| 5  | 児童扶養手当の経費について、ひとり親家庭などの生活安定と自立の促進に寄与するということが、自立の促進に対する具体的な行為は何だと考えているのか。それぞれの家庭の諸事情があるので内容をもっと把握して活動につなげてもらいたい。 |  | 環境厚生           |    |    |    |
| 6  | 未熟児養育医療助成経費の文言で、「正常時の出生児に有する機能を得るに至っていないもの」とあるが、表現が分かりにくい。  | できるだけわかりやすい表現にするよう今後の課題とさせていただきます。   | 環境厚生<br>広報広聴   |    |    |    |
| 7  | 追分から馬堀にかけての市道の新設工事が進められている。今後、亀岡から市立病院までコミュニティバスが運行する展開はあるのか。   | 北古世西川線は今年度3月末までに開通する予定である。コミュニティバスは篠町で試験運行しているが、今のところは不調である。執行機関には市道が開通すれば、亀岡駅から市立病院を含めつないで何年か様子を見るという意志を確認している。今後、京阪京都交通バスや別の方法なども含め検討していきたい。 | 公共交通対策         |    |    |    |
| 8  | 議会中継を1階エントランスホールで放映しているが、パーテーションで区切るなど、一般来庁者との仕切りが必要ではないか。  | 貴重なご意見として検討していきたい。   | 議会運営           |    |    |    |
| 9  | 関心のある質問を傍聴しに行くが、予定された質問が重なり飛ばされる時がある。その質問を傍聴しに来たにも関わらず、傍聴することができないことがある。切り口を変えて質問をするなどの工夫をしてもらいたい。              | 貴重なご意見として検討していきたい。   | 議会運営           |    |    |    |
| 10 | 議場の傍聴席の出入り等に関して、安全対策は大丈夫かと以前から思っている。何かあった時に、瞬時の対応ができるような体制を考えてはどうか。   | 貴重なご意見として検討していきたい。   | 議会運営           |    |    |    |

## わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29.10.23 13:30~15:27)

会場(ほんめ町ふれあいセンター)

テーマ(当町のまちづくりについて・高齢者福祉対策について)

|   | 意見・要望などの概要   | 当日回答内容   | 所管           | 対応 |    |    |
|---|--|--|--------------|----|----|----|
|   |  |  |              | 参考 | 報告 | 調査 |
| 1 | 保育所の統廃合については、呼び方を工夫し「再編成」と位置付け、本梅保育所については特色ある保育所として運営してはどうか。本梅町に在住し、子育てしながら働く人たちの中には、他町で働く人がたくさんおられるが、送迎の都合で職場に近い保育所に子どもを預けられている現状がある。また、生徒数が減少する育親中学校では、部が消滅する等、部活動が制約されてきている現状がある。少子化が進む中、保育所、小学校、中学校までの運営をどのように考えているのか。 | 保育所や学校の統廃合については、地域としっかり話し合いながら検討し、他の事例もよく検証し議論していくことが大事である。公立保育所の運営のあり方自体も含め、今後も議会としてしっかり取組んでいきたいと考えている。亀岡では、従来から学校をコミュニティの拠点としたまちづくりが行われているのが特徴であり、このようなことを踏まえ、市に対して子どもたちや保護者、地域の声を十分聞くよう議会として意見を述べているところである。 | 総務文教<br>環境厚生 |    |    |    |
| 2 | 農業について地域として頑張っているが、第2カントリーの閉鎖や農業従事者の高齢化が進むため、将来どうなるのかが課題である。また、ほ場整備について本梅町全体で考えていかなければならない。  | 地域で得意な作物を作るなど特色を生かした運営をするのがよいのではないかと。若い人たちの意見を含めて考えていただきたい。また、国営ほ場整備事業に合わせて、農業法人化を目指し、カントリー建設も視野に入れ取組まれればよいのではないかと。  | 産業建設         |    |    |    |
| 3 | 農作物の販路拡大や高値での販売が課題である。農協だけではなく、大阪方面や京都市内への新たな米の販路拡大の方策はないか。  | 法人であれば補助金が手厚くなるので、農業法人を立ち上げられてはどうか。米の販路についても、法人化すれば販売先も取扱うことを考えてくれるのではないかと。  | 産業建設         |    |    |    |
| 4 | 台風等の災害の際に、高齢者が避難するのが難しい場合があるが、本梅町では福祉施設と協定を結び対応している事例もある。  | 高齢者の見守りについては、各地域での成功例等を共有して、本梅町でよりよいものにしていただければよいと考えている。   | 総務文教<br>環境厚生 |    |    |    |
| 5 | 高齢者が免許証を返納しても、病院等へ行くための交通インフラが整備されていない状況がある。バス交通を充実したり、乗合タクシーの仕組みを構築することはできないのか。   | 高齢者の交通手段については、亀岡市内の各地域でも課題となっている。バス交通については、試験運行を実施しても利用者が増えていない実態もある。東別院町では、デマンド交通に取組まれているので、このことも含めて検討していきたい。   | 公共交通         |    |    |    |
| 6 | 西部地域に消防署を設置することについて要望を出しているが、どうなっているのか。  | 議会においても従来から大事な内容として内容を共有し、様々な提案をしながら市へ要望してきた。2市1町の自治体で負担金を出し合い、京都中部広域消防組合を設置しており、亀岡市だけでなく広域のことであるので、単独で解決できない事情がある。今後も検討していきたい。  | 総務文教         |    |    |    |

## わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29.11.5 10:00~11:44)

会場(畑野町公民館)

テーマ(人口減少、少子高齢化で過疎化が進行する中にあるのまちづくりについて)

|    | 意見・要望などの概要   | 当日回答内容  | 所管           | 対応 |    |    |
|----|--|---|--------------|----|----|----|
|    |  |   |              | 参考 | 報告 | 調査 |
| 1  | 畑野町に住んでいると買い物や通勤、医療など、さまざまなことにコストがかかる。少しでも負担が緩和できるように考えてほしい。   | 固定資産税、都市計画税、土地などが安価な部分もある。買い物については宅配の方法もある。   | 公共交通         |    |    |    |
| 2  | 行政にもお願いをしているが、市の職員など、まちづくりと一緒に考えてくれる人を紹介してほしい。南丹市ではアドバイザー的な人を派遣している。   |   | 総務文教         |    |    |    |
| 3  | 自由度が高く、制約のない補助金をつくってほしい。地元の思いで使えるような補助金を提案してほしい。   |   | 総務文教         |    |    |    |
| 4  | 消防・救急医療体制が最も不安。隣接する能勢町には救急車があるにも関わらず、行政の境があるためこちらへ出動できない。広域的な視点で考えてほしい。規定によってできないのであれば、生活しやすいように規定を変えることを考えてほしい。他の地域では定住圏という県をまたぐ考え方もある。 | ・西部4町を含めて何らかの方法で拠点づくりが必要と考える。<br>・市長、担当部の考え方を確認していきたい。                                | 総務文教         |    |    |    |
| 5  | 合併浄化槽については、取付けた後の補助を要望してきた。議会はそのことを把握しているのか。   | 設置だけでなく、その後の補助が必要ではないかということは9月定例会の決算審査で議論した。3月定例会の予算審査では議論がどのように反映されているのかをチェックしていきたい。 | 環境厚生         |    |    |    |
| 6  | 高齢に伴い運転が心配だが、免許証を返納すると畑野町では生活ができない。特別な措置として、地域の人でタクシー代わりに活動できるような対策を講じてもらえるように考えてほしい。  |   | 公共交通         |    |    |    |
| 7  | 環境美化条例では、畑野町は都市計画区域外になっているため対象外になっている。地権者に手紙を出しても、あて先不明で返送されてしまい、困り事が解決しない。市長が特に指定する地域に指定できれば強制力が出てくるのではないか。空き家についても地権者が分からず困っている。       | 今後、空家等対策の推進に関する条例が制定されると、管理不全の空き家に対して改善命令することができる。所有者に対して管理責任を問えるよう検討されている。           | 環境厚生<br>産業建設 |    |    |    |
| 8  | 環境美化条例では白地地域は対象外だが、空き家条例はどうか。登記簿から住所を調べて郵送しても所在不明で返ってくる。所有者不明の場合の対応はどうか。   | 聞いている話では市全域を対象とした条例であったと思う。対象外になることがあれば指摘していきたい。代執行も文言に入ると思う。                         | 環境厚生<br>産業建設 |    |    |    |
| 9  | 加舎の里カントリー付近の道路で死亡事故があった。その時にトンネルを掘ってほしいと要望した。費用はそれほどかからないと思う。  |   | 産業建設         |    |    |    |
| 10 | 民生委員の負担が大きい。趣旨はボランティアかもしれないが、交通費などいろいろな経費がかかっている。市として見合う分の保障をしてほしい。畑野町は人口割で定数が6人だが、広いところに家が点在しており、高齢化も進んでいることを配慮して、定数を検討してほしい。           |   | 環境厚生         |    |    |    |

## わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29.11.13 19:00~20:10)

会場(亀岡市役所 8階 全員協議会室)

テーマ(住み続けたいまち 将来の亀岡像について)

|   | 意見・要望などの概要   | 当日回答内容   | 所管                        | 対応 |    |    |
|---|--|--|---------------------------|----|----|----|
|   |  |  |                           | 参考 | 報告 | 調査 |
| 1 | 安定した職がないと住み続けるのは難しい。職業はいろいろあるが、自然の豊かさも残しつつ、経済の発展にもつながらる農業規模の拡大を提案したい。  | 亀岡市は兼業で水稻農業をしているところが多いが、農業で生計を立てようと思えば葉物栽培をしているところは所得が高いので、そこを目指せば農業規模の拡大に繋がるのではないかと思う。                          | 産業建設                      |    |    |    |
| 2 | 農業で収益を上げようと思えば、加工品としての付加価値をつけることが解決策だと思う。それには費用がかかるので、市として何らかの支援をしてもらえれば新しい産業が発展するのではないかと思う。   |  | 産業建設                      |    |    |    |
| 3 | 市民の方々が気持ちよく過ごせる亀岡であり続けることが大切である。京都スタジアム(仮称)ができたり、観光資源ができることによって、他の地域から来られる方も多くなり、気持ちよく共存できるまちづくり、亀岡で楽しんでもらえるまちづくりができればと思う。また、休日に亀岡から出て遊びに行く人が多いが、家族や友人と休日に亀岡で過ごせるようなまちななればよいと思う。 |  | 産業建設<br>京都スタジアム<br>(仮称)検討 |    |    |    |
| 4 | 人口増加を目指すには、若者が住むことだと思う。そのために、自然と市街化のハイブリット化を目指した環境づくりが大事である。大きな商業施設を建てる必要はないと思うが、若者があればいいなと思うようなものが亀岡に存在すれば、人口増加に繋がるのではないかと思う。   |  | 総務文教                      |    |    |    |
| 5 | インスタ映えするカフェや家族で楽しめる施設があれば、他の地域からも訪れてもらえる人が増えると思う。亀岡で住み続けたいとなると、働く場所が必要になるので、カフェや施設を作ることで雇用の拡大にも繋がるのではないか。  |  | 産業建設                      |    |    |    |
| 6 | 田畑を埋め立て、新しい家を建てているにも関わらず人口が減少している。空き家が増加することに関しての対策が必要だと感じている。亀岡市でも移住お試し体験をしているが、駅やスーパーに近い空き家を利用して若者を対象にするような取組みができればと思う。  |  | 総務文教<br>産業建設              |    |    |    |
| 7 | 亀岡市は都市化か田舎のままか、どちらを目指していくのか。   | 都会と田舎のいいところをとったトカイナカを目指していきたい。   | 総務文教                      |    |    |    |
| 8 | 亀岡市は京都市からは近いが、電車の本数がJR亀岡駅は多いが、JR千代川駅は少ない。  | 亀岡市内には4駅あり、まずは中心の亀岡駅を考えないといけない。亀岡市は京都市から近いということを議員もしっかり啓発していきたい。実行委員会の皆さんからもアピールしてもらえれば、人口も増えて千代川駅も本数が増えるのではないか。 | 産業建設                      |    |    |    |
| 9 | 働こうとすると子供を預けられる場が必要になる。また、0歳児保育などの充実には人が必要になる。このような問題に対応するためには、保育士の給与を増加させ就業率を高めることが大事であり、ひいてはUターンに対する施策になるのではないかと思う。  | 保育所に預けている子どもが病気になった場合でも、安心して預けられるところを亀岡市全域で増やしていくことが大事である。保育士の賃金が低いことが問題になっているので、行政も支援し、働く環境を整えていくことも大事である。      | 環境厚生                      |    |    |    |

## わがまちトークで頂いた意見・要望等と回答について

日時(H29.11.13 19:00～20:10)

会場(亀岡市役所 8階 全員協議会室)

テーマ(住み続けたいまち 将来の亀岡像について)

|    | 意見・要望などの概要  | 当日回答内容  | 所管            | 対応 |    |    |
|----|---|---|---------------|----|----|----|
|    |   |   |               | 参考 | 報告 | 調査 |
| 10 | 亀岡の企業も大企業と同じように広告等を活用し、情報発信をしてほしい。亀岡の企業を集めた企業説明会などがあると企業に触れる機会が増えると思う。  | 情報発信不足であったと思う。今後はもう少しPRRしていくように働きかけていきたい。   | 産業建設          |    |    |    |
| 11 | 就職するにあたって成長志向的にも自分を評価してくれる企業があれば都会に出ていくこともある。また、大卒が当たり前という中で、正直地元で就職するより大きな企業にチャレンジしたい。   |   | 産業建設          |    |    |    |
| 12 | 京都スタジアム(仮称)ができることで電車が混み、車が通行しにくくなるなど自分たちの生活がしづらくなることが考えられる。住んでいる自分たちの住みやすさを維持してほしい。   | 京都スタジアム(仮称)ができることで、電車や道路が混むということは魅力があるということ。捉え方の違いで、課題が出てきたときにより良いものに改善していくという考えのもと、まちづくりをしていきたい。 | 京都スタジアム(仮称)検討 |    |    |    |
| 13 | 観光や自然で人を呼び寄せることも大事だが、市街化においても限界に来ていないし、人を増やすことができると思う。例えば、スタバが1つできるだけでも印象が変わってくる。ちょっとした取組みが大事ではないか。                               | 努力はしている。商業施設も誘致をしているが、都市計画変更をしていくなどの課題がある。  | 産業建設          |    |    |    |
| 14 | SNSにあげるために行動する学生が多いので、食フェス、例えば肉フェスなどをすれば若者を集めるのに効果的だと思う。自然を生かすというのもよいと思うので、自然の中で緑があつて、青空があつて、その背景のもとで撮る写真が映えるような施設ができれば、若者が集うのでは。 | 亀岡市でも肉フェスを行った。多くの人が集まったが、若い方に発信できていなかったことはこれからの課題である。   | 産業建設          |    |    |    |
| 15 | トロッコ列車と保津川下りの周りに何も無いというのがもったいないので、みんなが興味を持ってくれるようなものがあればと思う。  |   | 産業建設          |    |    |    |
| 16 | 自然を生かすことに着目して、収穫体験、流しそうめん、おもちのピザを焼くなど、体験を通して人を呼ぶことができるのではないかと。また、若者の視点から、パラグライダーは魅力的である。  |   | 産業建設          |    |    |    |
| 17 | SNS、ネットを活用することが若者増加に必要なことであると思う。現地の様子をSNSに投稿したらプレゼントがもらえる特典や、体験型プログラムをSNSで拡散させることも大事だと思う。   |   | 産業建設          |    |    |    |

## わがまちトーク班編成及び役割分担

| 開催日・会場・テーマ | 東本梅町 1.20(土)20:00～<br>東本梅町ふれあいセンター<br>・東本梅町保育所存続について<br>・町の活性化とまちづくりについて | 千代川町 2.3(土)20:00～<br>千代川町自治会館<br>・安心、安全な千代川町の<br>まちづくりについて |
|------------|--|--|
| 司会         |  |  |
| 開会挨拶       | 小島副議長  | 小島副議長  |
| 総務文教常任委員会  | 奥野議員   | 小松議員   |
|            | 田中議員   | 福井議員   |
| 環境厚生常任委員会  | 齊藤議員   | 小島議員   |
|            | 小島議員   | 馬場議員   |
| 産業建設常任委員会  | 藤本議員   | 並河議員   |
|            | 明田議員   | 木曾議員   |
| 閉会挨拶       |  |  |
| 受付担当       |  |  |
| 写真担当       |  |  |
| 要約筆記担当     |  |  |
| マイク担当      |  |  |
| 会場責任者      |  |  |
| 広聴部会       | 小川議員   | 石野議員   |
| 集合時間       | 19:00  | 19:00  |
| 事務局        | 山内次長、船越副課長   | 山内次長、池永主任  |